校長室だより おみっ子 通信
思い合いの心で みんなが笑顔！
令和８年１０月３０日
麻績小学校
Ｎｏ．８
文責：尾台

「風邪」ニモマケズ

「ザクロいかがですか？」「葉っぱ １ 枚で買えますよ」「風邪予防にいいですよ」と、校庭の木に実った大きなザクロを両手に持ち、うれしそうに振舞う子どもたち、１１月のマラソン記録会に向け、「今日、これで7周目！」と、校舎の周りを力強く走る子どもたち・・・朝夕、急に冷えるようになりましたが、休み時間には季節の移り変わりを感じながら身体を動かす、元気な姿が見られます。

とはいえ、インフルエンザや新型コロナなどの感染性の疾病に罹患するお子さんもちらほら出始めました。昨年度は、本校でも１１月から学級閉鎖等の対応が始まっており、年々、流行の時期が早まっている感があります。マラソン記録会や他校との交流会、参観日、社会見学、修学旅行と、様々な行事が控えている１１月。手洗い、うがい、必要に応じてマスクの着用など体調管理に気をつけながら、これからの季節もなるべく元気に乗り切りたいところです。

１０月の麻績小ダイジェスト





＜みんなでつくる音楽の１日＞　村内の三校園の子どもたちが一同に会す「第４回おみっこミュージックフェスティバル」。今年も、保護者の皆さん、地域の方と、たくさんの方々に足をお運びいただきました。園、小、中と、子どもたちの思いのこもった各発表に送ってくださった拍手は、それぞれの心に残ったと思います。最後の小中合同合唱「ふるさと」も、おみっこの歌声が豊かに響き、圧巻でした。





＜収穫の秋＞　地域探検をしている３年生。先日、給食でもお世話になっている麻日屋さんで、リンゴの収穫体験をさせていただきました。子どもたちが選んだリンゴは、そのまま給食に。全校でおいしくいただきました。２７日には、OMIMOの久保田さんが５年生のお米を精米して届けてくださり、袋に入ったずっしりとしたお米に子どもたちは大盛り上がりでした。







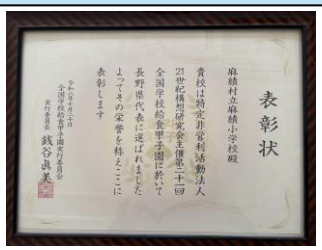


＜わくわくの村さんと②＞　麻績村にある一般社団法人「わくわくの村」さんの協力を得ながら地域の自然素材について学んでいる４年生。先日は、羊毛、綿などの素材を一から手がけ、作品にしている地域の作家さんのお話をお聞きしたり、大和屋さんで自分たちの集めた草花からバンダナを染めたり、さらにその草花を飾ったオリジナルＴシャツを作ったりと「衣」について様々な体験をさせていただきました。個性豊かなオリジナルＴシャツは村の収穫祭や音楽会でも披露でき、子どもたちも大満足！その後、地域探検として、３年生も大和屋さんで玉ねぎの皮からバンダナを染めたり、機織りをしたりと、貴重な体験をさせていただきました。地域の皆さんに学びながら、村の豊かさを実感している子どもたちです。





麻績小の給食は、先日、全国学校給食甲子園の県代表として表彰されました！



＜骨とお腹を元気に！＞　２６日から始まった給食週間。「丈夫な骨作りとおなかすっきり！大作戦」を合言葉に、セレクト給食や小中交流給食、骨コツ貯金のためのケンケンパコーナーなど企画も盛りだくさん！２７日は、信州大学教授の日高先生と OMIMO の久保田さんをお招きし、高学年の子どもたちに「骨とお腹を元気に」というテーマでお話しいただきました。強い骨を作っていくには、元気な腸を保つことが必要なこと、そのために、十分な睡眠と運動、そして食物繊維をしっかりとること、改めて意識できたようです。



＜また来てね！＞　９月２５日から教育実習に来ていた麻績小出身の藤原さんが、先日、無事実習を終了しました。いつも明るく、温かな目線で子どもたちと関わっていた藤原さん。ずっと前から麻績小にいるかのような安心感を醸し出していました。また、遊びに来てくれるとよいですね。

番外編　麻績村の子どもニュース



１０月４日から１週間、高学年のうち１７名の子どもたちが、家を離れて寝食をともにする「通学合宿」（村教委主催）に参加しました。信大の「YOU 遊未来」の皆さんが、子どもたちが安心して、助け合いながら楽しく過ごせるようにたくさん工夫をしてくれ、閉校式では、子どもたちも学生の皆さんも、達成感や感謝の気持ちで涙、涙…でした。